

## ◎ 特別警報と避難情報

台風や大津波等で重大な危険が差し迫った場合、気象庁は「特別警報」を発表します。「警報」の発表基準をはるかに超える、数十年に一度の大災害が起こると予想される場合に出されるもので、「警報」、「注意報」を含め、防災気象情報に常に注意を払って行動する必要があります。

避難が必要な状況になるようなときは、市町村長が「避難情報」を発令します。「高齢者等避難」「避難指示」「緊急安全確保」の3種類があり、直観的に行動できるよう、「警戒レベル」とともに発表されます。

★警戒レベル3・高齢者等避難(避難に時間を要する高齢者等は避難)

★警戒レベル4・避難指示(全員避難)

★警戒レベル5・緊急安全確保(災害発生又は切迫した状況。命の危険が迫っており、直ちに安全確保)

一方、多くの場合、防災気象情報は、自治体が発令する「避難情報」よりも先に発表されます。警戒レベル4や警戒レベル3に相当する防災気象情報が発表された際には、避難指示等が発令されていなくても、自らの判断でその時点で最善の安全確保行動をとることが大切です。

金沢市は、各校下・地域で小学校等を避難場所に指定しています。災害情報をメールで配信するサービス「金沢ぼうさいドットコム」でも、避難場所開設等の情報や気象情報を提供しています。

◆「金沢ぼうさいドットコム」のQRコードは次のとおりです。



金沢ぼうさいドットコム

<http://kanazawa-bousai.com>

## ◎ 大学への連絡

大規模な地震等、大災害が発生した場合、安否確認を行うため、登録アドレスに一斉メールを送信します。連絡可能な状態になった時点で、安否状況を返信してください。メールが受信できない、あるいは届かない場合、別掲の「災害用伝言板」等を利用するか、大学に電話連絡するなどして、できる限り安否報告に努力してください。

◆太陽が丘キャンパス

076-229-1161

◆薬学キャンパス

076-229-1165

【電話での報告事項】

- ①学籍番号②氏名③本人・家族の状況
- ④自宅・周辺の被災状況⑤避難先
- ⑥その他必要なことあれば

## 非常時パーソナル情報

氏名		
学籍番号	学部	
緊急連絡先	電話番号	
氏名	(間柄)	
自宅住所		
電話番号		
生年月日	血液型	
持病	なし	ある( )
常用薬	なし	ある( )
アレルギー	なし	ある( )

## ◎ 非常時の通信手段

◆NTTの公衆電話

緊急時において、通信規制の対象外として扱われるのが、NTTの公衆電話です。「10円玉」が役に立ちます。



◆00000Japan(ファイブゼロジャパン)

大規模災害時、被災地域で無料開放される公衆無線LANサービスです。通常は契約者に限定される携帯電話各社等のWi-Fiアクセスポイントを、IDやパスワードを入力することなく利用できます。

ネットワーク選択の画面で「00000JAPAN」を選択すると利用できます。通信の暗号化等のセキュリティ対策は行っていないため、個人情報等には注意してください。「00000」としたのはネットワーク設定画面で常に先頭に表示されるように配慮されたものです。

## ◎ 災害用伝言板

大規模地震発生時には、被災地への電話が殺到し、電話がつながりにくくなります。NTTや携帯電話各社は、非常時に安否確認等を可能な限りサービスに行うため、各種のサービスを提供しています。

このうち、インターネットを利用する「災害用伝言板」は、**安否情報ポータル「J-anpi 安否情報まとめて検索」**から、各通信事業者等が個別に提供する安否情報を一括して検索することができます。本学の安否確認メールが届かなかった場合等に備えるため、災害用伝言板に安否情報を登録するようにしてください。

サービスの開始は各社のホームページ、TV、ラジオ等で広報されます。日ごろから各社のホームページ等で、自分の安否情報の登録方法、他の人の安否の確認の仕方等、いつでも操作できるように、詳細を確認しておいてください。



# 大規模地震等 対応マニュアル

ポケット版(学生用)

(第3版:2021年10月更新)

最大震度5弱以上の地震発生が予想される場合、「緊急地震速報」がTV等から流れます。強い揺れまですわやかな時間しかありません。自分の命は自分で守るつもりで、落ち着いて行動することが大切です。大災害は明日、やってくるかもしれません。もしものときに、このマニュアルを役立ててください。

② ..... 点線を番号順に折り込んで下さい

◆携帯各社のサービスのQRコードは次のとおりです。



NTTドコモ



au



ソフトバンク



Y!mobile

NTTドコモ <http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>  
au <http://dengon.ezweb.ne.jp/>  
ソフトバンク <http://dengon.softbank.ne.jp/>  
Y!mobile <http://dengon.ymobile.jp/>

◆「J-anpi 安否情報まとめて検索」のQRコードは次のとおりです



J-anpi <https://anpi.jp/top>

安否確認をしたい人の氏名、又は電話番号を入力すると、その人がいずれかの「災害用伝言板」に安否情報を登録していれば、無事かどうかを確認することができます。

## 自宅で地震に遭遇

- 基本的な避難行動は、大学で遭遇した場合と同じ。家族が一緒なら、家族と行動を共にする。
  - 揺れが収まって、暗闇では割れた窓ガラスや照明器具の破片で怪我をしやすい。慌てて動かず、目が慣れたら靴を探す。
  - 電気器具のプラグをコンセントから抜く。ブレーカを切る。
  - 安全と判断した場合は、近くの避難場所へ行き、自身の安全を確保する。その上で、落ち着いたら、安否確認メールに返信し、大学からの指示を待つこと。
  - 避難は徒歩で、荷物は最小限にする。
  - うわさやデマに注意!
- SNS等で拡散される伝聞情報ではなく、テレビ、ラジオ等の情報に注意し、正確な状況を把握すること。



## 帰宅？ 大学？

- 大学が帰宅の許可を出すまでは大学内に残る。
- 余震が落ち着いたらとしても、交通機関等の安全が確認されないうちの帰宅は、かえって危険。
- 大学では、公共交通機関の状況、道路・橋梁等の被災状況、市内の建物倒壊・火災状況等のあらゆる情報を収集します。その上で、帰宅の可否を判断します。
- 帰宅は徒歩が原則で、自転車、バイク、自動車の使用は危険。普通、人の歩く速度は約4km/hとされるが、災害時は2.5km/h程度に落ちる。帰宅可能な距離は10km以内がひとつの目安。日没後の屋外での行動は非常に危険なため、これらを総合的に判断します。
- 仮に帰宅できた場合、自宅や周辺の状況を大学に知らせること。自宅が被災していた場合は、大学に戻る距離であれば大学へ、そうでない場合は、自宅近くに開設される避難場所へ行くこと。

## 揺れが収まったら

- 慌てて動き出さない。余震に注意。
- 火災を確認した場合、大声で知らせながら消火器等で初期消火にあたる。消火が無理だと思ったら、速やかに避難する。
- 負傷者を見つけた場合、大声で知らせながら救護にあたる。
- 学内放送、教職員の指示に従い避難。階段を使用。障がい者の避難援助。火災発生の場合は、姿勢を低くし水で濡らした巾着等を口に当てる。避難したら絶対に戻らない。
- 本学の避難場所は次のとおり。学内放送で別の場所を指定した場合は、それに従う。

**薬学キャンパス 薬学本部棟正面玄関前**

**太陽が丘キャンパス 太陽が丘グラウンド**

## 大学で地震に遭遇

- 使用中の火を消す。ガスの元栓を閉める→余裕がなければ、揺れが収まってから。次も同じ!
- 避難に備えて近くの出入口を開放→揺れの影響でドアが動かなくなることに備える。
- 机、テーブルの下に隠れる。又は壁や柱の近くに身を寄せると→慌てて外に飛び出さない。
- 落下物のないグラウンド・広場にいる場合は、動かずにその場で低い姿勢をとる。
- 建物の近くにいる場合、窓ガラス等の落下に備え、鞆等で頭部を守り、出来るだけ建物から離れる。
- エレベーターの中にいる場合、すべての階のボタンを押し、最初に停止した階で降りる。閉じ込められたら、非常ボタンを押して救助を待つ。
- 実験中の場合、化学薬品類、実験機器等の取扱いに注意する。



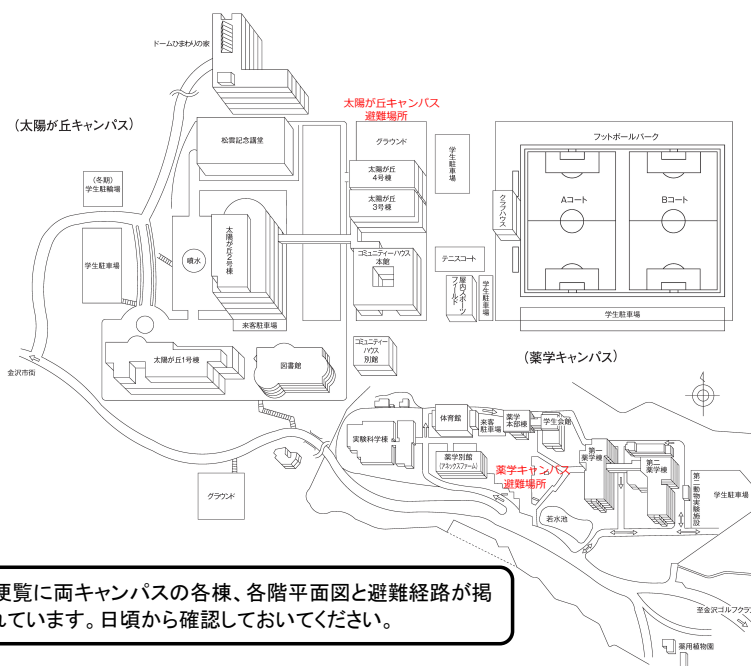
## 外出中に地震に遭遇

- 基本的な避難行動は、大学で遭遇した場合と同じ。
- 電車やバスに乗っている場合、座席に座っていれば低い姿勢をとって、頭部を鞆等で守る。立っていればつり革、手すりをしっかり握り、転倒しないようにする。停車後は乗務員や駅員等の指示に従う。
- 住宅地のブロック塀、電柱、自動販売機は、倒れる危険性があるため、速やかに離れる。
- ビルからの落下物(看板等)に注意。頭部を鞆等で守る。
- 海水浴中の場合は、監視員やライフガードの指示に従う。川の近くにいる場合は、流れに対して直角方向に素早く避難する。
- 大型商業施設等にいる場合は、慌てて出口に殺到せず、係員の指示に従う。
- 無理に帰宅しようと思わず、周辺の状況に注意し、現在地から最も近い避難場所への移動を考える。

## 非常時、「これがあったら!」

災害時の避難は、「着の身着のまま」とよく言われます。できればそうならないように、日ごろから、以下の品物を参考に、何を持出すかを考え、準備しておくことが大切です。

- |  |                                    |
|--|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 現金 (小銭も)      | <input type="checkbox"/> 預貯金通帳     |
| <input type="checkbox"/> 印鑑            |                                    |
| <input type="checkbox"/> 健康保険証         | <input type="checkbox"/> 常用薬、その処方箋 |
| <input type="checkbox"/> 学生証           | <input type="checkbox"/> 免許証       |
| <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ         | <input type="checkbox"/> 懐中電灯      |
| <input type="checkbox"/> 予備の電池         |                                    |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話の充電用ケーブル  |                                    |
| <input type="checkbox"/> モバイルバッテリー     |                                    |
| <input type="checkbox"/> 替えの衣服・下着類、タオル |                                    |
| <input type="checkbox"/> 両足 (カッパ)      |                                    |
| <input type="checkbox"/> ばんそうこう        |                                    |



学生便覧に両キャンパスの各棟、各階平面図と避難経路が掲載されています。日頃から確認しておいてください。